

みずほCustomer Desk Report 2018/01/11号(As of 2018/01/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.45
TKY 9:00AM	112.78	1.1929	134.52	1.3532	0.7811
SYD-NY High	112.78	1.2018	134.57	1.3562	0.7868
SYD-NY Low	111.27	1.1924	133.09	1.3482	0.7808
NY 5:00 PM	111.43	1.1947	133.16	1.3507	0.7841
NY DOW	25,369.13	▲ 16.67	日本2年債	-0.1300	1.00bp
NASDAQ	7,153.57	▲ 10.01	日本10年債	0.0800	2.00bp
S&P	2,748.23	▲ 3.06	米国2年債	1.9745	0.42bp
日経平均	23,788.20	▲ 61.79	米国5年債	2.3300	0.18bp
TOPIX	1,892.11	2.82	米国10年債	2.5577	0.74bp
シゴ日経先物	23,635	▲ 230.00	独10年債	0.4715	0.85bp
ロンドンFT	7,748.51	17.49	英10年債	1.2860	0.40bp
DAX	13,281.34	▲ 104.25	豪10年債	2.6910	5.30bp
ハンセン指数	31,073.72	62.31	USDJPY 1M Vol	7.03	0.83%
上海総合	3,421.83	7.93	USDJPY 3M Vol	7.53	0.55%
NY金	1,319.30	5.60	USDJPY 6M Vol	7.87	0.42%
WTI	63.57	0.61	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	194.86	0.71	EURJPY 3M Vol	8.26	0.41%
ドルインデックス	92.37	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	8.28	0.28%

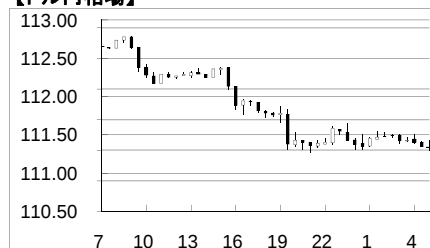
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月10日	10:30	中 PPI(前年比)	12月 4.9%	4.8%
	10:30	中 CPI(前年比)	12月 1.8%	1.9%
	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 0.4%/2.5%	0.4%/1.8%
	23:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁「19年末までにインフレが2%に達するとは予想せず」		
	23:10	米 カプラン・ダラス連銀総裁「今年3回の利上げ、なお適切な基本シナリオ」		
1月11日	0:00	米 卸売在庫(前月比・確報)	11月 0.8%	0.7%

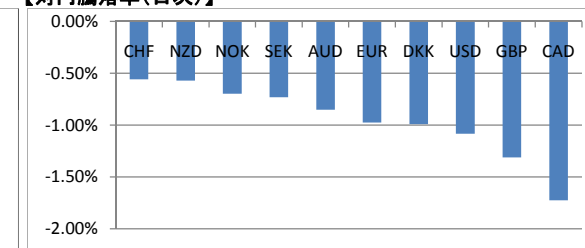
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月11日	9:30	豪 小売売上高(前月比)	11月 0.4%	0.5%
	21:30	欧 ECB議事要旨	12月 -	-
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	12月 0.2%/3.0%	0.4%/3.1%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 245k	250k
1月12日	5:30	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20—112.20	1.1880—1.1980	132.50—133.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は軟調に推移した。中国当局筋の話として「米債の魅力が低下している」と報じられ、ドル売りが優勢となった。一部では一昨日の日銀による緩和縮小疑念も払拭できておらず、ドル円は弱含みと見る向きも多い印象。しかし、本日はドル円の反発をメインシナリオと考える。昨日海外時間、ユーロや豪ドルといった通貨では上記ヘッドライン前の水準まで戻している（ドルが買い戻されている）一方でドル円はまったく戻していない。年初からの資源価格の上昇を受けて、例えば豪ドルは対ドルで高値圏で推移しており、本邦要人による「日銀の緩和姿勢は不変」といった発言等が出れば、クロス円の上昇も相俟ってドル円は短期的に反発する余地がありそうだ。

東京	東京時間のドル円は112.78レベルでオープン。前日の日銀の超長期債の買い入れ減額の影響が響く中、上値重く推移。仲値にかけてさらに円買いが強まり、主要通貨に対し円が全面高の展開となるとドル円も112円台前半まで下落した。午後に入ると、翌日に日銀による中長期債の買い入れオペを控える中、112円台前半での小動きが続き、112.37レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.37レベルでオープン。中国当局が米国債について魅力が乏しいと発言したことから、米金利が上昇。しかし、為替市場ではむしろ米債売り懸念からドル売りで反応。111.27まで急落し、111.38レベルでNYに渡った。ユーロは1.1928レベルでオープン。起債を控えたポルトガル調整の思惑で、独連邦10年債利回りが10月以来の高水準で推移する中、1.1955まで上昇。その後、スウェーデン中銀の議事要旨で「引き締め開始に近づいている」、「ECBより先に利上げすることも可能」との認識が示され、ユーロが対SEKで売られると、対ドルでも1.1932まで小緩む。米債売りを背景とするドル売りが強まると、1.2018まで買われ1.1998レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3518レベルでオープン。英11月鉱工業生産指数は前年比+2.5%と予想(+1.8%)を大幅に上回ったものの、同時に発表された英11月貿易収支が12億3100万ポンドの赤字(予想:109.5億ポンドの赤字)となり、赤字幅が5か月ぶりの高水準だったことから、上下動。1.3529レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.38レベルでNYオープン。朝方は111.65まで上昇する場面もあったが、この水準ではドル売り意欲も強く111.30まで反落。その後は安く寄り付いた米株がマイナス幅を縮小する展開にドル円は111.40付近での推移が続いた。午後に行われた米10年債入札は堅調な結果となり、米長期金利は低下したが、為替市場の反応は限定的となった。また、ブラッド・セトルズ連銀総裁の「インフレ期待は多少上がっている」との発言が伝わったものの、こちらも市場の反応は限定的となった。結局、ドル円は狭いレンジ内での推移が続き、111.43レベルでクロースした。一方、ユーロドルは海外時間でドル売りが強まったことから上昇し、1.1998レベルでNYオープン。1.20台ではユーロ売り意欲も強く、軟調なユーロ円を横目にじり安な推移が続き、1.1940まで下落。1.1947レベルでクロースした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 濱・西谷